

SAFETY DATA SHEET



ISSUE Date 27-Oct-2009

Revision Date 16-Nov-2012

Version 1

1.製品及び会社情報製品識別

製品名 NAPCO 320 ミディアム スピード シンナー

その他の識別手段

SDS# NAP00016

UN/ID No UN1263

推奨される化学物質の使用と使用上の制限

推奨される使用 キッチンとバスの補修に使用

安全データシートサプライヤーの詳細製造業者住所

North America Polymer Company, Ltd.

7315HamiinAve

Skokie, IL 60076 USA

緊急連絡電話番号

会社 1-800-888-1081 / 1-847-779-6464

緊急電話 INFOTRAC 1-352-323-3500 (国際)

1-800-535-5053 (北米)

2.危険性の特定区分

急性毒性 – 皮膚

Category 4

急性毒性 – 吸入(粉塵/ミスト)

Category 4

可燃性液体

Category 2

注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚に付着すると有害

吸入すると有害

高可燃性の液体と気体



形状 透明な液体 物理的状态 液体 臭い 有機化合物の激臭

使用上の注意 - 予防

保護手袋／防護服／保護眼鏡／保護マスクを着用する
 粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避ける
 屋外ないし換気が十分な場所でのみ使用する
 熱／スパーク／裸火／高温面に接触させない — 禁煙
 容器を密閉する
 容器を接地させる／アースをとる
 防爆型の機器を使う
 火花を発生させない工具を使用する
 静電気放電に対する予防措置を講じる

使用上の注意 - 対応

皮膚（または髪）に付着した場合：汚染されたすべての衣類をただちに脱ぎ、水／シャワーで皮膚を洗い流す
 汚染された衣類を再使用する場合は、使う前に洗濯する
 気分が悪いときは中毒センターか医師に連絡する
 吸入した場合：空気が新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる
 気分が悪いときは中毒センターか医師に連絡する
 火災の場合：二酸化炭素、粉末ないし泡の消火薬剤を使用する

使用上の注意 - 保管

換気の良い涼しい場所で保管する
 施錠して保管する

使用上の注意 - 廃棄

内容物／容器は認可された廃棄プラントに廃棄する

分類されない危険有害性(HNOC)

飲み込むと有害なおそれあり

その他の情報

- 水生生物に長期的に有害な影響あり

3.組成/成分情報

化学名	CAS No	重量-%	企業秘密
Proprietary Solvent Blend	Proprietary	30-100	*
Proprietary Solvent Blend	Proprietary	30-100	*

4.応急処置

応急措置

吸入 吸入した場合：新鮮な空気がある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときはただちに医師に連絡する

眼に入る 眼に入った場合：水で数分、慎重に洗眼すること。コンタクトレンズを装着している場合、簡単に外せる場合は外して洗眼する。刺激が悪化ないし持続する場合は医師の診断を受ける

飲み込んだとき 無理に吐かせない。水で口をすすぐ。意識のない人に経口投与を行ってはいけない。ただちに医師か中毒事故管理センタに連絡する

皮膚への付着 皮膚（または髪）に付着した場合、汚染されたすべての衣類を脱ぎ、皮膚を水で洗う。汚染された衣類を再使用するときは、その前に洗濯する。気分が悪ければ中毒センターか医師に連絡する

急性および遅発性の最も重大な症状と影響

症状 眼や皮膚への刺激。蒸気を長時間吸った場合、吐き気、頭痛、脱力感、目眩が起きることがある。消化管の炎症を引き起こす

即時医療処置や特別治療が必要な兆候

医師への注意 一般的な対症療法を行い、症状を治療すること。アルコール依存症、心拍障害だけでなく、血液、皮膚、眼、肝臓、腎臓、肺、心臓血管、肺および呼吸器系の病気を悪化させる

5.消火処置

適切な消火剤

粉末化学剤ないし二酸化炭素。泡消火剤

不適切な消火剤 水を噴霧する際にシャワー程度の水滴径では効果が 出ない可能性がある。水を使うときは、フォグノズルが良い

化学物質から生じる特有の危険有害性

密閉容器が加熱すると破裂するおそれあり

有害な燃焼生成物 二酸化炭素

静電気放電に対する感度 本製品を可燃性混合状態にすると、たとえ静電気放電であってもすぐに発火する

消防士の保護具と注意

どのような火災でも、プレシャデマンド型自給式呼吸装置、MSHA/NIOSH(認証品または同等品)および全身防護服を着用する

6.偶発的漏出時の処置

個人の注意、保護装置、緊急措置

個人の注意 漏出の際は、影響を受けた区域を空にして、人を保護する。この安全データシートのセクション8に記載している防護服を着用する

緊急通報対応者 すべての着火源を除去する。緊急対応時には全身化学防護服を推奨

環境に対する注意 生態学的追加情報については、セクション12を参照

封じ込め・浄化の手段と機材

封じ込め手段 少量の漏出物は、ポリパッド等の非反応性吸収剤に吸着させる

浄化方法 すべての着火源を除去する。ノンスパーク工具と防爆電気機器を使用する。履くか、スコップ等ですくって、適切な容器に入れて廃棄する。連邦、州、地方規制に従って、生成物、残留物、使い捨て容器、内張り材を廃棄する

7.取り扱い及び保管

安全な取り扱いのための注意

安全な取り扱いに関するアドバイス

優良工業衛生・安全規範に従って取り扱う。セクション8で推奨されている人体保護具を使用する。取り扱い後に顔、手、被ばくした皮膚を完璧に洗う。本製品を使用しているときに飲食・喫煙をしない。十分に換気されている場所で使用する。蒸気やミストの吸入を回避する。熱、火花、炎、その他の着火源（点火用バーナー、電気モーター、静電気など）を避ける。製品取り扱い時に使用するすべての装置はアースしておく。ノンスパーク工具と防爆電気機器を使用する。静電放電を防止する対策を行う

安全な保管条件、不適合を含む

保管条件

容器を密閉してから、乾燥しており、涼しく、換気が十分な場所に保管する。自動車のトランクに入れて保管しない。熱、火花/裸火が近づかないところに保管する。施錠して、子供の手が届かない場所に置く

不適合物質

強酸化剤

8.曝露防止/身体保護

曝露ガイドライン

化学名	ACGIH TLV	OSHA PEL	NIOSH IDLH
Proprietary Solvent Blend	TWA: 200 ppm	WA: 200 ppm TWA: 950 mg/m3 (vacated) TWA: 200ppm (vacated) TWA: 950 mg/m3	IDLH: 1500 ppm TWA:200 ppm TWA: 950mg/m3
Proprietary Solvent Blend	TWA: 100 ppm	TWA:100ppm TWA: 300 mg/m3 (vacated) TWA: 100 ppm (vacated) TWA: 300 mg/m3 (vacated) STEL: 150ppm (vacated) STEL: 450 mg/m3	IDLH: 1600 ppm TWA:100ppm TWA: 300mg/m3 STEL: 150 ppm STEL: 450 mg/m3

適切なエンジニアリングコントロール

エンジニアリングコントロール

適切な換気で、仕事場周辺大気を安全データシートの曝露限度未満に維持しなければならない。仕事場のすぐ近くに洗眼用蛇口を備えなければならない。

個人保護具などの個人保護手段

眼/顔面の保護

保護ゴーグルあるいは保護眼鏡

皮膚と身体の保護

ネオプレンゴムかブチルゴムの手袋を常用する。作業にふさわしい人体保護具を使用する。エプロンなどの不浸透性の人体保護具を推奨する。緊急対応の際は全身化学防護服を推奨する。

呼吸保護

呼吸を保護する必要があるときは、米労働省労働安全衛生局(OSHA)規格(29CFR 1910.134)と米国諸州の適用規制やカナダCSA規格Z94.4-93とカナダ諸州適用規格で承認されている保護措置のみを使用する。OSHAは酸素レベルが19.5%を切っていると「生命または健康に対する差し迫った危険(IDLH)」とみなす。その場合、OSHAの呼吸の保護に関する基準(1910.134-1998)により、全面形面体プレシャデマンド型自給式呼吸器あるいは自給式の全面形面体給気式呼吸用保護具が必要となる

一般的な衛生上の注意

優良工業衛生・安全規範に従って取り扱う

9.物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質に関する情報

物理的状态 液体

形状 透明な液体

色 透明

臭い

有機化合物の激臭

臭い閾値 未決定

性質

pH

融解点/氷点

沸点/沸点範囲

引火点

蒸発率

可燃性 (固体・気体)

空気中の可燃限界 未決定

可燃上限

可燃下限

蒸気圧

蒸気密度

比重

水溶性

他の溶媒での溶解性 未決定

分配係数

自然発火温度

分解温度

動粘度

動的粘度

爆発特性

酸化特性

値

未決定

未決定

98° C / 208° F

-4° C / 40° F

未決定

未決定

未決定

未決定

未決定

未決定

未決定

未決定

水で溶ける

未決定

未決定

未決定

未決定

未決定

未決定

未決定

未決定

備考・方法

その他の情報

10.安定性と反応性

反応性

通常の状態では反応しない

化学的安定性

推奨された保管条件下で安定

危険反応の可能性

通常処理では生じない

危険有害な重合

危険有害な重合は生じない

回避すべき条件

過度の熱、火花、炎

不適合物質

強酸化剤

危険有害な分解生成物

熱分解により炭素酸化物が生成されることがある

11. 毒性情報

起こりうる暴露経路に関する情報

製品情報

吸入 吸い込むと有害
 眼に入る 眼に入ると一時的刺激が生じることがある
 皮膚に付く 皮膚に付くと有害
 飲み込む 飲み込むと有害となる可能性がある

コンポーネント情報

化学名	Oral LP5Q	Dermal LP50	Inhalation LC50
Proprietary Solvent Blend	4100 mg/kg (ラット)	>2 g/kg (ウサギ)	>2230 mg/m ³ (ラット) 4 h
Proprietary Solvent Blend	2733 mg/kg (ラット)	>2000 mg/kg (ウサギ)	>9700 ppm (ラット) 4h

物理的・化学的・毒性学的影響に関する情報

症状 症状については、この安全データシートのセクション 4 参照

短期・長期の暴露による遅発性・急性・慢性的影響

発癌性 発癌可能性は不明

毒性数値尺度- 製品

未決定

以下の値は GHS 文書第 3 章 1 に基づいて計算された。

ATEmix(経口) 4078 mg/kg
 ATEmix(皮膚) 1100 mg/kg
 ATEmix(吸入-ガス) 699 mg/l
 ATEmix(吸入-粉塵/ミスト) 1.6 mg/l
 ATEmix(吸入-蒸気) 11 mg/l

12. 生態学的情報

生態毒性

水生生物に有害で、長期的影響あり

化学名	藻類/水生植物	魚類	微生物への毒性	甲殻類
Proprietary Solvent Blend		296-362: 96 h Pimephales promelas mg/L LC50 flow-through	EC50 = 11.1 mg/L 30 min EC50 = 6.38 mg/L 5 min EC50 = 8.04 mg/L 15 min	
Proprietary Solvent Blend	>1000:72 h Desmodesmus subspicatus mg/L EC50	6130-6700: 96 h Pimephales promelas mg/L LC50 flow-through	EC50 > 10000 mg/L 17 h	4607 - 6577:48 h Daphnia magna mg/L ECS0 Static 933:48 h Daphnia magna mg/L EC50

持続性と分解性

未決定

生物濃縮性

未決定

移動性

未決定

化学名	分配係数
Proprietary Solvent Blend	1.38
Proprietary Solvent Blend	0.35

その他の悪影響 未決定

13.処分に関する考慮事項

廃棄物の処理方法
 廃棄物の処理

修復またはリサイクル用に確保できないものは、適切かつ承認された廃棄物処理施設で管理する必要がある。この製品の処理、使用、または汚染によって、廃棄物管理オプションを変更することがある。州・地方の処理規則が連邦処分規則と異なる場合がある。容器と未使用内容物は、連邦、州、地方の要件に従って処分する

汚染された梱包 廃棄は、当該地域、国、地方の法令に従って行わなければならない

14.郵送上の情報

DOT

UN/ID No	UN1263
正式品名	塗料関連材料
危険有害性クラス 3	
包装等級(PG)	II
特別規定	製品は梱包サイズによって数量限定対象外となる可能性もある

IATA

UN/ID No	UN1263
正式品名	塗料関連材料
危険有害性クラス 3	
包装等級(PG)	II
特別規定	製品は梱包サイズによって数量限定対象外となる可能性もある

IMDG

UN/ID No	UN1263
正式品名	塗料関連材料
危険有害性クラス 3	
包装等級(PG)	II
特別規定	製品は梱包サイズによって数量限定対象外となる可能性もある

その他

免責事項

この安全データシートで提供した情報は、刊行された時点の当社の知見、情報、確信の限りにおいて正しいものである。記載されている情報は、安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、取り外しの指針としてのみ設計されており、保証もしくは品質基準とみなされるべきではない。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連する。さらに、この安全データシートに明記されている場合を除き、他の物質と組み合わせた物質や、何らかのプロセスで使用された物質には適用されない場合がある。